

令和7年度

稲敷市立東中学校グランドデザイン

学 校 の 教 育 目 標

知性に富み 健康で 調和のとれた人間形成を
目指した教育を進める

< 校 訓 >

自 主 創 造 責 任

生きる力

茨城県教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し、豊かな人間性をつちかう。
- じょうぶな身体をつくり、たくましい心を養う
- 郷土を愛し、協力し合う心を育てる

茨城県総合計画

「活力があり、県民が日本一幸せな県」
茨城県の未来をつくる「人財」を育て、日本
一子どもを産み育てやすい県を目指す

- 政策11 次世代を担う人財 政策12 魅力ある教育環境
政策13 日本一子どもを産み育てやすい県
政策14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城
政策15 自分らしく輝ける社会

稲敷市教育振興基本計画(第3期) 令和6年度～令和9年度

<基本理念>

郷土を愛し 未来にはばたく しなやかな人づくり

<基本目標1>

未来を担いなしきっ子の育成

<施策の基本方針>

- 1 幼児教育の充実
- 2 確かな学力を育む教育の推進
- 3 豊かな心を育む教育の向上
- 4 健やかな体を育む教育の活性化

<めざす学校像>

- 生徒が生き生きと活動している学校
- 安全・安心な学校
- 生徒・保護者・地域から信頼される学校

<めざす生徒像>

- 自ら学び続ける生徒
- 思いやりのある生徒
- たくましくしなやかな生徒

<めざす教師像：教員の資質>

- 人間性豊かで、高い使命感をもって、教育にあたることができる
- 子どもの多様性を理解し、一人一人に寄り添った関係を築くことができる
- 子どもの実態や社会の変化を的確に捉え、効果的な学びをデザインできる
- 授業改善に向け検証と研修を重ね、実践的専門性を高めることができる
- 他の教職員と協働し、学校教育目標の具現化に資することができる

経 営 の 重 点

<基本理念> 学校経営の基本構想 『温かい学校づくり』＝生徒も教職員も誰もが「幸せ」だと実感できる学校

- 生徒の多様性を理解し、実践的専門性を高め合う温かい教師集団のもと、互いのよさを認め合い、自分のよさを発揮できる心理的安全性に満ちた学級経営を基盤として、すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくりを推進する。
- (1) 東中授業スタイルを中核に据え、個別最適な学びと協働的な学びを展開することを通して、一人一人の資質・能力の向上を図る。
- (2) 教育活動全体を通して、自己肯定感、自己有用感を高めるとともに人権感覚を養い、望ましい人間関係を構築する。
- (3) 体験活動の充実を通して、たくましくしなやかに生き抜く生徒の育成に努める。
- (4) 生徒の夢や願いや思いの具現化を通して、自己のキャリア形成を意識させながら、自己実現への意欲を高める。校内F Sを円滑に運営する。
- (5) 学校や家庭、地域、関係諸機関との連携を通して、地域とともにある学校づくり、安心・安全な学校づくりを推進する。
- (6) 校内研修の充実を通して、教職員の資質・能力の向上に努め、風通しのよい職場づくりを通して「チーム東」の組織力を高める。

教 育 目 標 具 現 化 の た め に

スローガン ～「なりたい自分」へ向けて、3つの気（やる気・本気・根気）を充実させ、生徒も教職員もタフにさらなる高みを目指す～

学 校 組 織 目 標

- 課題解決的な学習を通して、「問い」をもち、自ら学び続ける生徒を育成する。
- 学校の教育活動全体を通じて、思いやりがあり、たくましくしなやかな生徒を育成する。

思いやりのある生徒

◆好ましい人間関係の醸成と豊かな心の育成

【達成目標】発達支持的生徒指導の展開

- ※ 他の生徒のよさを認められる生徒 90%以上
- ※ いじめの年度内解消率 100%
- ※ Q-U調査学校生活満足度の割合 60%以上

【具体的施策】

- 支持的風土を基盤とした学年・学級経営
・学校行事、学年行事、係活動の自主的運営
・居場所づくりと絆づくり
- 自主的・実践的態度を育てる特別活動
・気づき、行動する生徒会活動（ルールメイキング）
- 豊かな心を育てる道徳教育
・考え、議論する道徳の授業・体験活動の重視
- 特別支援教育の充実
・合理的配慮に基づく指導・特別支援学校との連携
- 自発的な態度を育むための発達支持的生徒指導
・あいさつの奨励・自問活動（自問清掃、読書）

自ら学び続ける生徒

◆探究的に学び続ける生徒の育成

【達成目標】未来を拓く学びの展開

- ※ 試行錯誤をしながら取り組めた生徒 80%以上
- ※ アウトプットができた生徒 80%以上
- ※ 振り返りを通して次の課題を持てた生徒 70%以上

【具体的施策】

- 問いの発見と解決を目指した探究的な学びの充実
・主体的・協働的な学びの実現・ICT機器の活用
- 自ら課題を解決する能力の育成
・東中授業スタイル（単元内自由進度学習）の実施
- 自主学習（基礎・基本）の推進
- 課題にチャレンジ
・みんなにすすめたい一冊の本（年間30冊）
・漢字・英語・数学検定、郷土検定への取組
- 夢や希望を育むキャリア教育の推進
・職場見学や職場体験活動の充実
- ノー・メディア・デーの推進

たくましくしなやかな生徒

◆生徒の自己指導能力の育成

【達成目標】健やかな体を育む教育の展開

- ※ 体力テスト総合評価A+Bの割合 60%以上
- ※ 部活動に積極的に取り組んでいる生徒 80%以上
- ※ 苦手なことにも粘り強く取り組める生徒 80%以上

【具体的施策】

- 心と体を鍛える活動
・T Uタイムによる体力向上
- 体育的行事の充実
・体育祭、友歩会、校内レクリエーションの実施
- 保健安全指導
・薬物乱用防止、性、がん教育、交通安全教室
- 部活動の活性化と改善
・目標の共有と仲間意識の醸成・基本の徹底
・凡事徹底（自分磨き）・地域移行の推進
- 学校保健委員会の活性化
・関係機関との連携と保護者への啓発

◆家庭・地域との連携・協働「社会に開かれた教育課程」

【達成目標】

- ※ 学校は、教育活動の様子をわかりやすく伝えている。80%
- ※ 学校は、保護者や地域の人たちと話し合う機会を多く設けている。60%

【具体的施策】

- ・RPDCAサイクルを活用した学校運営の改善（学校評価、学校関係者評価）
- ・保幼小中連携の強化（東中学校区テーマ「子どもたちの自主性を育てよう」）
- ・コミュニティ・スクールの充実（地域学校協働活動の一体的促進）
- ・情報発信と情報収集（メール、ホームページ、各種便り、PTA行事など）
- ・地域の人材、社会人講師等を活用した教育活動の推進

◆教職員の資質能力の向上

【達成目標】

- ※ ICT機器等を活用し、個別最適でわかる授業の展開に努める。90%
- ※ 超過勤務の複数月の平均が80時間を超えない。100%

【具体的施策】

- ・人材育成・学校活性化支援システム、研修履歴を活用した資質能力の向上
- ・研究テーマに基づく研究（単元内自由進度学習へのチャレンジ、教科部会の活性化）
- ・若手教員の指導力向上（初任者研修、2年次研修の充実）
- ・ベテラン・ミドルリーダーによるOJTの推進及びキャリアアップを図る分掌配置
- ・教員のパフォーマンス向上のための働き方改革（働き方改革推進委員会）